

## 2011年度 決算概要

## 1. 連結決算概要（経営成績）

単位：億円（単位未満切捨て）

区 分	2011年度	2010年度	対前年増加額・率	
	A	B	A-B	(%)
<b>営業収益</b>	<b>8,398</b>	<b>8,003</b>	<b>394</b>	<b>4.9%</b>
高速道路事業	7,816	7,430	386	5.2%
(料金収入等) ※1	5,629	5,843	△214	△3.7%
(道路資産完成高)	2,187	1,586	600	37.9%
関連事業	619	617	1	0.2%
(道路休憩所事業)	435	372	63	17.0%
(受託・その他の事業)	183	245	△62	△25.3%
セグメント間取引の消去	△37	△44	6	-
<b>営業費用</b>	<b>8,350</b>	<b>7,906</b>	<b>443</b>	<b>5.6%</b>
高速道路事業	7,816	7,376	440	6.0%
(道路資産賃借料)	3,816	3,949	△133	△3.4%
(その他の営業費用) ※2	4,000	3,426	574	16.8%
関連事業	571	575	△3	△0.7%
(道路休憩所事業)	386	329	56	17.2%
(受託・その他の事業)	185	246	△60	△24.6%
セグメント間取引の消去	△38	△44	6	-
<b>営業利益</b>	<b>48</b>	<b>97</b>	<b>△49</b>	<b>△50.5%</b>
<b>経常利益</b>	<b>71</b>	<b>118</b>	<b>△47</b>	<b>△39.7%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>45</b>	<b>77</b>	<b>△32</b>	<b>△42.1%</b>

※1 営業収益/高速道路事業/料金収入等には、高速道路料金無料化社会実験及び東北地方の高速道路の無料措置などの減収補てんが含まれています。

※2 営業費用/高速道路事業/その他の営業費用には、道路資産完成原価が含まれています。

(注) 当社グループの事業区分及びその主要内容は、以下のとおりです。

事業区分	主要内容	
高速道路事業	高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧その他の管理等	
関連事業	道路休憩所事業	高速道路の休憩所、給油所等の建設、管理等
	受託事業	国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等、その他委託に基づく事業等
	その他の事業	駐車場事業、トラックターミナル事業等

## 2. 連結営業概況

### (1) 高速道路事業の営業状況

#### 営業収益

- 高速道路事業の営業収益は、前年度比386億円増の7,816億円となりました。

前年度と比較して増収となった最も大きな要因は、道路資産完成高が、道東道(夕張IC～占冠IC)の開通などにより、前年度比600億円増の2,187億円となったことです。

一方、料金収入等は東日本大震災に伴う東北地方の高速道路の無料措置などの影響により、前年度比214億円減の5,629億円となりました。

(単位:億円)

区分	2011年度	2010年度	増減額	増減率
料金収入等	5,629	5,843	△214	△3.7%
(うち料金収入のみ)	(5,280)	(5,587)	(△307)	(△5.5%)

#### 営業費用

- 高速道路事業の営業費用は、前年度比440億円増の7,816億円となりました。

営業費用のうち、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構(以下「高速道路機構」と記載)に対する道路資産賃借料が、前年度比133億円減の3,816億円となりました。

また、その他の営業費用は、道路資産完成高に見合う道路資産完成原価の増などにより、前年度比574億円増の4,000億円となりました。

### (2) 関連事業(道路休憩所事業)の営業状況

#### 営業収益

- 道路休憩所事業の営業収益は、自動販売機事業の直営化及び運営店舗の増加などにより、前年度比63億円増の435億円となりました。

#### 営業費用

- 道路休憩所事業の営業費用は、自動販売機事業の直営化及び運営店舗の増加に伴い、仕入原価が増加したことなどにより、前年度比56億円増の386億円となりました。

# 1. トピックス(2011年度の主な取り組み)

## 【高速道路事業】実施した主な施策

### ■新規開通(ネットワークの整備)

道東道(夕張IC～占冠IC)など、3区間 58.0km が新たに開通しました。



道東道 夕張IC～占冠IC間 開通式



道央道 森IC～落部IC間

### 2011年度新規開通区間

路線名	新規開通区間	開通年月日	延長
圏央道	白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT	2011年5月29日	3.3km
道東自動車道	夕張IC～占冠IC	2011年10月29日	34.5km
道央自動車道	森IC～落部IC	2011年11月26日	20.2km
合計			58.0km

### ■東北地方の高速道路の無料措置

被災者や被災地の復旧・復興の支援などのため無料措置を実施しました。



横断幕での周知(東北道)

### ■災害復旧(東日本大震災の本復旧工事)

東日本大震災の本復旧工事に着手しました(2012年12月完了予定)。



東北道(宮城県大崎市)舗装本復旧工事

## 【関連事業】実施した主な施策

### ■HEARTLINK NIPPON プロジェクトの推進

サービスエリアやパーキングエリアで、被災地域の復興を支援する取り組みを行っています。



つなごう、こころ。ひろげよう、出会い。



応援メッセージなどみなさまの声を聞く「耳カー」

### ■休憩施設のリニューアル



ドラマチックエリア那須高原(東北道 那須高原 SA<sup>Ⓓ</sup>)  
2011.12.21 オープン

## 2. 財政状態の概要(連結貸借対照表)

### 《資産・負債の構造》

- 道路建設のための社債・長期借入金及び東日本大震災の本復旧工事に係る高速道路機構からの短期借入金が、仕掛道路資産に対応しています。

【資産】	7,277億円	【負債・純資産】	7,277億円
仕掛道路資産	3,325	流動負債	1,296
流動資産	4,718	機構からの短期借入金	115
固定資産	2,555	道路建設関係社債	3,194
繰延資産	4	道路建設関係長期借入金	150
		<u>3,344</u>	
		固定負債	4,342
		純資産	1,639

## 3. 個別決算概要(経営成績)

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分	2011年度	2010年度	対前年増加額・率	
	A	B	A-B	(%)
<b>営業収益</b>	8,046	7,712	333	4.3%
高速道路事業	7,759	7,364	395	5.4%
(料金収入等) ※	5,571	5,777	△205	△3.6%
(道路資産完成高)	2,187	1,586	600	37.9%
関連事業	287	348	△61	△17.6%
(道路休憩所事業)	104	103	0	0.7%
(受託・その他の事業)	183	245	△62	△25.3%
<b>営業費用</b>	8,043	7,657	386	5.0%
高速道路事業	7,778	7,332	445	6.1%
(道路資産賃借料)	3,816	3,949	△133	△3.4%
(道路資産完成原価)	2,187	1,586	600	37.9%
(その他の営業費用)	1,775	1,796	△21	△1.2%
関連事業	265	324	△59	△18.3%
(道路休憩所事業)	79	78	1	1.6%
(受託・その他の事業)	185	246	△60	△24.6%
<b>営業利益</b>	2	55	△52	△94.9%
<b>経常利益</b>	49	64	△14	△22.2%
<b>当期純利益</b>	30	24	5	23.0%

※ 営業収益/高速道路事業/料金収入等には、高速道路料金無料化社会実験及び東北地方の高速道路の無料措置などの減収補てんが含まれています。

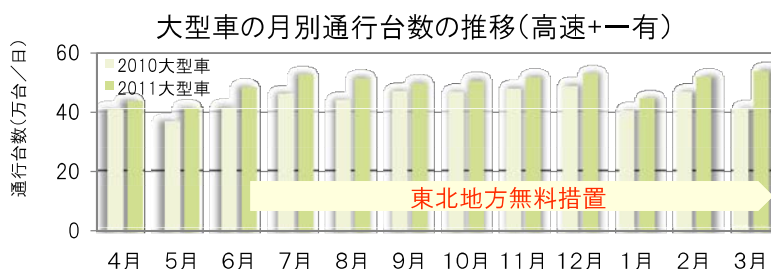
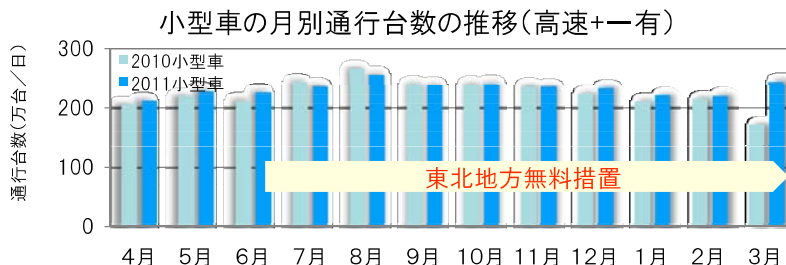
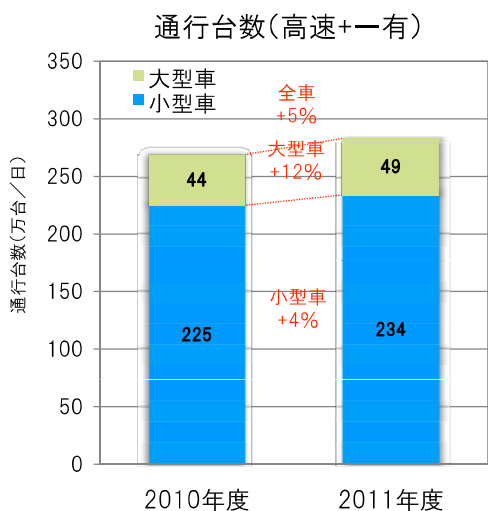
# 2011年度の営業概要 (通行台数)



## (1) 通行台数(前年度比)

2011年度の通行台数※は、東日本大震災の影響から概ね回復するとともに、休日上限1,000円の廃止、無料化社会実験の凍結、東北地方の高速道路の無料措置を実施した結果、1日当たり約280万台で前年度比5%増となりました。車種別では、小型車が4%増加、大型車が12%増加しました。

※ 無料通行車両を含む

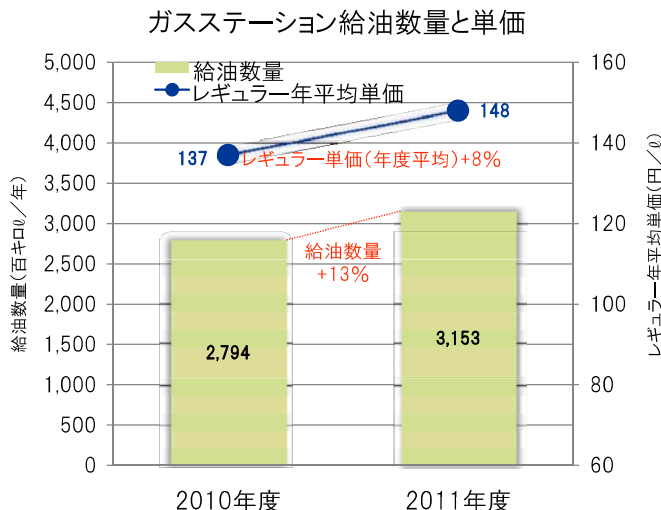
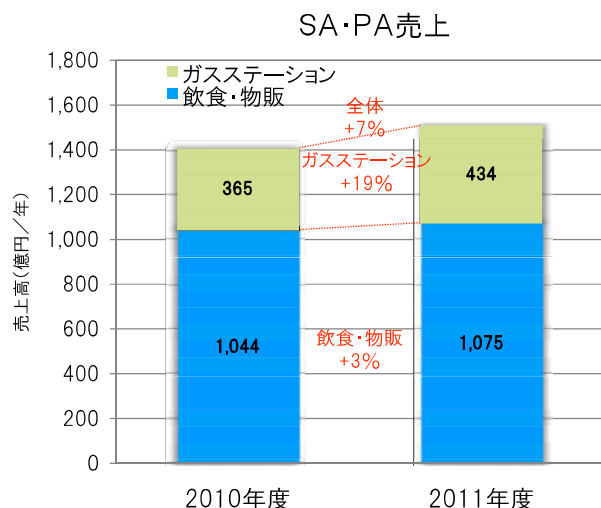


# 2011年度の営業概要 (休憩施設店舗売上高)



## (2) 休憩施設店舗売上高(前年度比)

飲食・物販とガステーションを含めた全体の店舗売上高は、前年度比7%増の約1,510億円となりました。飲食・物販の売上高は、休日上限1,000円の廃止、無料化社会実験の凍結、東北地方の高速道路の無料措置等の影響を受け、結果として3%増となりました。一方、ガステーションの売上高は、単価上昇と被災地へ向かう車両への給油数量が増加したことから19%増となりました。



## ■ 2012年度計画(連結損益見通し)について

➤ 2012年度は、営業利益56億円、当期純利益65億円を見込んでいます。

	2012年度計画
営業収益	8,546億円
営業利益	56億円
経常利益	74億円
当期純利益	65億円

※2012年度計画は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績は様々な要素により、上記の計画と異なる可能性があることをご承知おき下さい。